

第1章 第1期計画の概要と事業評価

1 湯ったりゆがわら健幸プラン(湯河原町健康増進計画・食育推進計画) (第1期計画)の策定の経緯

本町においては、総人口が減少を続けており、中でも年少人口、生産人口は減少しているが、その反面、老年人口は増加傾向にある。そのため、出生率は大きく減少し、死亡率は増加している。中でも、悪性新生物、心疾患の死亡数が増加傾向にある。しかしながら、特定健康診査やがん検診の受診率は低迷しており、保健指導の終了者も少ない。このような中で、生活習慣の改善により発病を予防する「一次予防」の重要性が高まっており、町民の健康づくりへの意識を高め、主体的な取り組みを応援する環境づくりが重要となってきた。国においても「健康増進法」が制定され、「健康日本 21」が推進されている。それに基づき、神奈川県では「かながわ健康プラン 21」が策定されている。また、健康づくりの重要な柱の一つとして食の問題があるが、これについては国において「食育基本法」が制定され、「食育推進基本計画」が推進されている。これに基づき神奈川県では「神奈川県食育推進計画（食みらい かながわプラン）」が策定されている。本町においては、これら国、県の法律、計画等を踏まえ、本町の状況に適した「湯河原町健康増進計画・食育推進計画」の策定を行なった。

本計画の策定においては、平成 26 年度に「湯河原町健康増進計画・食育推進計画策定委員会」を設置して、庁内のみならず町内外の幅広い健康づくり関係者・関係機関、住民代表の意見が集約できる体制を敷いた。その上で、ライフステージ別の町民の健康意識、態度、実践状況を把握するための「住民健康状況調査」を行った。次に、同策定委員会の下に「湯河原町健康増進計画・食育推進計画策定作業部会」を設置し、ライフステージ別に「乳幼児期」(0～6 歳)、「学童期・思春期」(7～19 歳)、「青年期・壮年期」(20～64 歳)、「高齢期」(65 歳以上)の 4 グループに分け、「住民健康状況調査」結果等をもとに検討を行い、問題分析、課題・解決策の抽出を行った。また、抽出された施策案の優先順位付けを行い、優先順位の高いものについて実施計画を策定した。

「湯河原町健康増進計画・食育推進計画策定委員会」では、作業部会の検討成果を討議するとともに、問題分析等を踏まえて、湯河原町健康増進計画・食育推進計画の基本理念、基本方針を策定した。また、計画全般を取りまとめ、「湯ったりゆがわら健幸プラン(湯河原町健康増進計画・食育推進計画)」(第1期計画)を作成した。

2 第1期事業の概要

4つのライフステージ別に事業を構成し、計7事業が実施された。

ライフステージ	No.	事業名	事業の概要	対象者
乳幼児期	1-1	子どもの健康ワ ンポイント講座	乳幼児期は、睡眠時間が短い、就寝時間が遅い、食育への関心が低いなど、問題が多いことから、保健センター・幼稚園・保育園等が一丸となって、乳幼児期の健康増進に必要な知識を普及する	乳幼児のいる家庭・妊婦とその家族
	1-2	1歳児からの食 事講習会	離乳食には配慮しているが、離乳食完了後の配慮が少なく、塩分、脂肪分の取りすぎにつながっていることから、幼児に適した「幼児食」を普及する	1歳児の保護者
学童期・ 思春期	2-1	運動応援隊	学童期・思春期には運動不足の子や、運動が楽しくない子が多いことから、運動の楽しさを体感し、運動習慣をつけさせる	学童期・思 春期およ び全町民
青年期・ 壮年期	3-1	簡単レシピで満 点料理	外食や中食を摂る機会が多く、食事のバランスについて考える機会が少ないことから、簡単栄養レシピを作成し、普及する	青年期・壮 年期
	3-2	健康情報メール マガジンで、健 康ゲット！！	メールマガジンで町の教室の周知、健康診断への案内の周知を行い、教室などへの参加者を増やす	青年期・壮 年期
	3-3	禁煙のススメ “やめたいアナ タを応援します”	喫煙者が多いこと、また禁煙したい人も多いが、禁煙できていないことなどから、禁煙手段の提供、禁煙継続強化をすることにより、喫煙者を減少させる	青年期・壮 年期の喫 煙者のう ち、禁煙し たい人
高齢期	4-1	孫にLINEを送 ろう！～スマホ の使い方講座 の開催	スマートフォンを所有しているが、使い方がよく分からない高齢者に対して、孫世代との交流を目指した講座を開き、同時に健康情報などデジタル情報の入手を促進する	高齢期

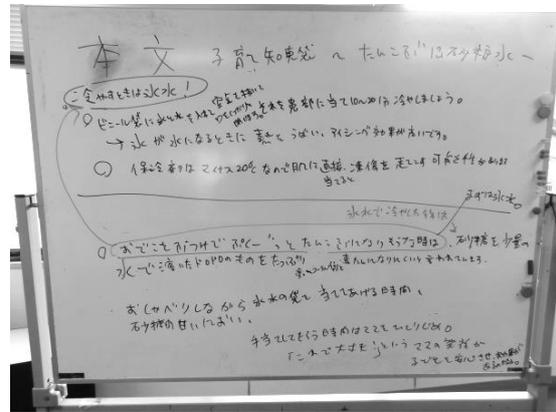
以下に、各事業の2019年度の実施概要を示す。

1-1 乳幼児期 子どもの健康ワンポイント講座

町民アンケートで子育てに関して知りたいもののトップが「しつけ」であったため、しつけをテーマとした情報発信を行ってきた。年3回関係部署打合せ会を実施。宮上幼稚園園長、福浦幼稚園園長、町立保育園園長、こども支援課、社会教育課、子育て支援センターおよび保健センターの保健師、栄養士がメンバー。毎回メンバーがチラシ案を持ち寄り、議論を交わした。年4回チラシを発行して町の保育園・幼稚園、私立の幼稚園、保健センター、こども支援課で配布した。令和元年12月冬号まで「しつけ」をテーマにした情報発信を行ったが、しつけについてのテーマが一巡したため、令和2年3月春号からしつけ以外の様々なテーマを含む「子育て知恵袋」に変更した。



関係部署打ち合わせ会の議論の様子



議論の過程

子育て知恵袋

~

おでこをぶつけて“ぷくー”とたんこぶになりそうな時はまず氷水で患部を10～20分冷やしましょう。氷が水になる時に熱を奪いアイシング効果が高いです。※保冷剤はマイナス20℃なので肌に直接当てると凍傷を起こす可能性があります。

氷水の袋の作り方
 1.清潔なビニール袋に氷と水を入れる
 2.空気が入らないように口をしめる。

+
+
→

氷水で冷やした後は、砂糖を少量の水で溶いたドロドロの物をたっぷり塗ってコーティングすると青タンになりにくいといわれています。おしゃべりしながら氷水の袋を当ててあげる時間、砂糖の甘いにおい、手当をしてくれている時間はママを独り占め。「これで大丈夫」というママの笑顔が子どもを安心させ、効果があるのかなあ

※出血していたら医療機関を受診してください。

次回は6月頃配布予定です!!
 湯ったりゆがわ健康プラン「乳幼児期 子どもの健康ワンポイント講座」
 問い合わせ/保健センター 63-2111(内線367)

令和2年3月春号・・・バックナンバーは保健センター1階に掲示中。町ホームページでもダウンロードできます。

1-2 乳幼児期 1歳児からの食事講習会

離乳食には配慮しているが、離乳食完了後の配慮が少なく、塩分、脂肪分の摂りすぎにつながっていることから、幼児に適した幼児食を普及することを目的に事業を実施している。隔月で年6回実施。食育サポートメンバーが調理したものを1歳児歯科教室で試食してもらい、レシピを配布している（新型コロナウイルス感染症対策で、令和2年3月実施分は試食を中止し、レシピ配布のみ）。簡単で作りやすいと好評なため、平成30年度に作成したレシピを継続して使用。このレシピを作る食育サポートメンバーは毎回変わるので、開催ごとに簡単な事前打ち合わせをし、実施している。

1歳児歯科教室（幼児食）献立

わかめおにぎり

材料 小きなおにぎり4個分

ごはん	100g（こども茶碗1杯分）		
カットわかめ（乾）	ふたつまみ（2g程度）		

① ごはんが熱々ならちに細かく砕いたカットわかめを混ぜ合わせる。
② 4等分にして食べやすい形にきる。

お子さんと一緒に作っても楽しい

にんじん入り鶏そぼろ

材料（2人分）

にんじん	40g（※1/2程度）	A	さとう	小さじ1/2
鶏むね肉（むね）	60g		みそ	小さじ1/3
サラダ油	小さじ1		水	大さじ2〜

① にんじんはすりおろす（ミキサーでも可）。
② フライパンにサラダ油を熱し、①を入れ、水気を飛ばすように炒める。
③ ②に鶏肉を加えてポロポロになるまで炒め、Aを回し入れて、汁気がなくなるまで炒める。

にんじんのオレンジ色が鮮やかです★

ほうれん草の磯辺和え

材料（2人分）

ほうれん草（葉の部分）	60g（4器程度）	しょうゆ	小さじ1/3
もみのり	ふたつまみ	だし汁	大さじ1と1/3

① ほうれん草はやわらかくよくゆでて、水気を切って1cmの長さ切る。
② ①にだし汁、しょうゆ、のりを加えて和える。

のりを入れることでほうれん草の青臭さが緩和！

貝だくさんみそ汁

材料（4人分）

じゃがいも	160g（※1器程度）	たまねぎ	60g（※1/4器程度）
にんじん	40g（※1/2程度）	みそ	20g
チンゲン菜	80g（1器程度）	だし汁	600cc

① だしをとる。
② じゃがいもは、小さく食べやすい大きさに切る。
にんじんは薄めのいちよう切りに、たまねぎは1cm幅に、チンゲン菜は1cm角くらいに切る。
③ だし汁でじゃがいも、にんじんを茹で、やわらかくならしたらたまねぎ、チンゲン菜を入れる。
④ 野菜が全てやわらかくならたら火を止め、みそを溶く。

お子さんと一緒に家族みんなで減塩しよう！

バナナのソテー

材料（2人分）

バナナ	100g（1本程度）	（ココアパウダー	お好みで少々）
バター	小さじ1		

① バナナは1.5cm幅の小口切りにする。
② フライパンにバターを溶かし、①を両面焼き、しんなりしたら器に盛る。（※お好みでココアパウダーをふってもおいしくいただけます）

バターで焼いただけいつものバナナも特別感アップ♪



わかめおにぎり にんじん入り鶏そぼろ ほうれん草の磯辺和え

令和元年度使用したレシピ



幼児1人分の分量



試食の様子

2-1 学童期・思春期 運動応援隊

学童期・思春期の児童で運動不足の子や運動が楽しくない子が多いことから、運動の楽しさを体感し運動習慣をつけさせることにより、ストレス、睡眠不足、肥満の改善を図ることを目的にラジオ体操の普及を図っている。毎年検討部会を3回（夏休み直前、夏休みラジオ体操の終了後、年明けに来年度の打ち合わせ）実施。3つの会場の参加者のうち皆勤賞の子どもが一人いて、賞状を渡した。

初年度は夏休み期間のうち1週間の開催だったが、令和元年度は夏休みを通して39日間の開催となった。保険に加入しているが、事故やけがは無かった。

参加者数（令和元年度）

	子どもの人数	大人的人数	合計
桜木公園	222	909	1,131
海浜公園	164	1,524	1,688
柵口公園	263	489	752
合計	649	2,922	3,571

月	火	水	木	金
22	23	24	25	26
29	30	31		

ラジオ体操カード

日 時 2019年7月22日(月)～8月29日(木)
あさ6時30分～6時45分
(悪天候時は予告なくお休みになります)

場 所 海浜公園・柵口公園・桜木公園

対 象 誰でも大歓迎!
小中高生、保育園・幼稚園児

持ち物 水筒・タオル・出席カード(現地で配ります)

お問い合わせ先 湯河原町保健センター 63-2111

ラジオ体操のお知らせポスター



ラジオ体操会場の様子



ラジオ体操会場の様子

3-1 青年期・壮年期 簡単レシピで満点料理

青年期・壮年期は、外食や中食（惣菜・弁当など調理済みのものを買ってきて食べる）を摂る機会が多く、食事のバランスについて考える機会がないことから、簡単栄養レシピを作成し、普及することを目的として、事業を実施している。簡単で食事バランスのいい料理を公募し、レシピ集を作成し、配布する。町民健康デー、母子保健推進員調理実習時などで、食育サポートの紹介に合わせてレシピ募集チラシを配布。令和元年度は広報6月号および10月号、湯河原町ホームページで周知。令和2年3月には、子どもと一緒に食べたい野菜料理をテーマにしたレシピ集を作成した。作成されたレシピ集は、町民健康デー参加者のほか糖尿病教室、栄養相談等の参加者に配布した。



応募レシピ試作の様子

小学生・中学生・高校生の子育て世代ママさん & 学校栄養士さんのアイデアから生まれた

野菜を使った簡単レシピ集2 ～子どもと一緒に食べよう～

- ① キャベツのじゅくり焼
- ② ブロッコリーのマヨおかかあえ
- ③ 野菜のチーズ焼
- ④ おやつ感覚サラダ
- ⑤ 簡単ワタンスープ
- ⑥ キャベツと小松菜の海苔あえ
- ⑦ 簡単キッシュ
- ⑧ 油揚げ餃子
- ⑨ 具がいっぱいのクリームスープ

湯河原町健康センター 令和2年3月作成

このレシピ集は…

平成28年3月に湯河原町健康増進計画・食育推進計画を策定しました。その際の住民健康状況調査では、湯河原町は「ほとんど毎食野菜を食べる人」が少なく、他市町村に比べて野菜の摂取頻度が少ないという結果でした。健康的な食生活のためには、1日350gの野菜を摂ることが目標とされています。そこで、町では町民の方々の「オリジナルレシピ」を募集し、そのアイデアを基にレシピ集を作成することになりました。日頃から食卓にならべられている「生きたレシピ」ばかりです。ぜひ作って食べてみてください。平成30年9月発行の『野菜を使った簡単レシピ集』に続き、令和2年3月にこの『野菜を使った簡単レシピ集2』を発行しました。このレシピ集2の作成にあたっては、40レシピの応募がありました。その中から特に「子どもと一緒に食べたい」と思えるものを9レシピ選び1冊にまとめました。

あなたのオリジナルレシピを募集中です!!
詳しくは湯河原町HPへ
(検索：簡単レシピ)



出来上がったレシピ集

② ブロッコリーのマヨおかかあえ

材料(4人分)	分量(g)	
ブロッコリー	300g	1株分
マヨネーズ	20g	大きじ2
しょうゆ	15g	大きじ1弱
かつおぶし	5g	

栄養価(1人当たり) エネルギー 67kcal 蛋白質 4.5g
脂肪 4.2g 塩分 0.8g

<つくり方>

- ① ブロッコリーを食べやすい大きさに切り、電子レンジ600Wで4～5分加熱する。
- ② マヨネーズ、しょうゆをまぜ、水気をきった①、かつおぶしと和える。



材料(4人分)



できあがり(1人分)

ブロッコリーのマヨおかかあえ (作り方)

ブロッコリーのマヨおかかあえ (写真)

3-2 青年期・壮年期 健康情報メールマガジンで、健康ゲット!!

メールマガジン等で町の教室の周知、健康診断への案内の周知、教室などへの参加者を増やすことにより、町民がより健康な生活を送れるようにすることを目的に事業を実施している。町広報「健康一番!!」のコーナーを保健師・栄養士が輪番で担当（毎月）。健康に関する情報提供を実施した。

令和元年度（2019年4月～2020年3月）

号	テーマ	担当者
4月号	赤ちゃんとお豊かな時間を過ごそう	廣瀬妙子
5月号	5月は運動「毎日運動している」人は50%	穴戸美奈子
6月号	野菜を使った簡単レシピを大募集!	上掛未央
7月号	フレイル(虚弱)をご存知ですか?	吉田友美
8月号	子育てのヒントが沢山! 子どもの健康ワンポイント講座	廣瀬妙子
9月号	9月は自殺対策強化月間です	内藤 愛
10月号	簡単野菜料理を使ったカラフル弁当	加藤直見
11月号	住み慣れた地域で自分らしく過ごしましょう	吉田友美
12月号	冬本番～腸から健康管理～	望月久珠子
令和2年1月号	つつい長時間利用してしまうメディア 心と体に不調を感じていませんか	廣瀬妙子
2月号	ポキッと折れない しなやかなココロ作り	内藤 愛
3月号	新生活を元気に迎えよう	小川浩行

健康一番!!
カラダに効くワンポイントアドバイス

赤ちゃんとお豊かな時間を過ごそう

◆赤ちゃんが成長する上で大切な要素
着床後
赤ちゃんはお母さんのおなかの中で生まれるのを待っています。生まれた後は、お母さんの胸が安心できる場所です。たくさん抱っこしてあげましょう。

◆赤ちゃんとお遊ぶときは目をみて、肌
に接して話しかけることが大切です。
「あなたが大好きよ。」とていかい
いね。とお母さんの気持ちを伝えま
しょう。

◆赤ちゃんの言葉の貯金は授乳中か
ら始まる。
授乳中は赤ちゃんとお目を合わせ、語
りかけるといい。「あーあー。」と「うー
うー。」などの声を出したとき、はきは
きだけその声に答え、相手をしてあげ
てあげましょう。

◆赤ちゃんに「いいお顔遊び」をし
てもいい?と話しかけます。赤ちゃん
が機嫌よく「いいお顔遊び」ができ
る状態なのかを確認した後、ふれあ
い遊びを始めます。

◆「いいお顔、いいお顔、いいお顔」
いいお顔、と顔や体の部位をな
でながら歌います。体をなでて
「みんなみんな大事だよ。ぎゅー。」

◆スマートフォンに夢中になっていま
せんか
親子で出かける時もスマートフォン
に夢中で赤ちゃんの興味や関心が薄
れていることはありませんか。スマー
トフォンを使う時間をコントロールし
て、赤ちゃんを見てほしい話しかけてく
ださい。

◆また、脳が急速に育つ時期の赤ちゃん
を含め、2歳くらいまでの幼児には、
スマートフォンをさせることは、なほ
く控えたいことをお勧めします。
国保健康センター健康指導係 内線367

健康一番!!
カラダに効くワンポイントアドバイス

【簡単野菜料理を使ったカラフル弁当】

◆10月に入り、過ごしやすいく季節に
なりました。スポーツや行事などで
外出し、青空の下で食事をする機会
が多くなります。おいしく見える
お弁当には、どんなコツがあるで
しょうか。

◆おいしそうなお弁当はカラフルに
「おいしそう」と感じる食事は、
は、視覚が大切だとされています。
お弁当に入れる食材の色を意識し
てみましょう。

◆赤・黄・緑・茶・黒の5色がそ
ろと、見た目だけでなく栄養バラ
ンがよいお弁当になります。赤入
参やトマトなど、黄色いかぼちゃ、
パプリカ、コーンなど、緑ほうれ
んそう、いんげん(豆)の3色は、
野菜によくある色で、ビタミンや食
物繊維が含まれています。また、茶
色は、肉、魚や豆などのタンパク
質、黒は、ひじきや海苔などの海藻
からミネラルが摂れます。

◆簡単レシピについて
町では、町民の皆さんが野菜料理
を手作りしたくなるような、オリジ
ナルレシピを募集しています。応募
していただいたレシピは、町の事業
で活用しています。随時募集してい
ますので、皆さんのご家庭のレシピ
をぜひ応募ください。

◆あなたの簡単レシピ
大募集中!
テーマ:10分でできる
野菜たっぷり簡単料理!
所定の応募用紙に記入の上、郵送ま
たは直接保健センターにご応募く
ださい。
詳細は、保健センターに
お問い合わせ
ください。

◆ピーマンのおひたし
材料(大人4人分)
ピーマン…8個(200g)
かつお節…2g(1パック)
きざみ海苔…4g(2枚分)
しょうゆ…小さじ2

①ピーマンを千切りにする。
②電子レンジで2～3分加熱す
る。
③かつお節、きざみ海苔、しょう
ゆをあえる。
※水分が出る場合は、すりごま
を加えるとお弁当に詰めやす
くなります。

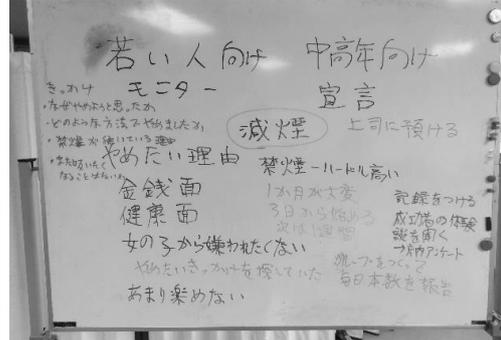
国保健康センター健康指導係
内線365

3-3 青年期・壮年期 禁煙のススメ ‘やめたいアナタを応援します’

湯河原町では喫煙者が多いこと、また禁煙したい人も多いが、禁煙できていないことなどから、禁煙手段の提供、禁煙継続強化をすることにより、喫煙者を減少させ、もって喫煙関連疾患の減少、間接喫煙関連の弊害を減少させることを目的に事業を実施している。庁内職員（喫煙者）メンバーによる検討部会で、今後の支援の方向性を検討（3回実施）。庁内禁煙成功者の体験談をアンケートにて聞き取りを実施。禁煙成功体験談集『たばこをやめたいアナタへ 私はどうしてやめられた 禁煙成功体験談 第1集』を作成した。



庁内の喫煙者を集めて討論



討論の結果を整理・・・禁煙成功者のアンケートを取ることが決定

たばこをやめたいあなたへ
**私はどうしてやめられた
 禁煙成功体験談
 第1集**

令和2年3月

湯ったりゆがわら『健幸』プラン
 禁煙のススメ‘やめたいアナタを
 応援します’推進部会編
 湯河原町保健センター

②妻の妊娠をきっかけに離煙パイプで禁煙

禁煙時年齢	20代	喫煙年数	数年台
きっかけ	妻の妊娠		
禁煙方法	離煙パイプ		

32歳・男性

大学生の20歳頃、周りも吸っていたので吸い始め8年間。最初は1日ひと箱くらい、最後は半箱くらいでした。28歳の時、妻の妊娠が分かり、自分以外に害があるので、やめようと思いました。当時、職場の人も禁煙する人が多かったのもありました。職場の先輩から離煙パイプを教えてもらい、通販で30日間分のパイプが入って1か月でやめられるセットを12,000円くらいで買いました。だんだん味が薄くなっていくのですが、マニュアル本もついているので励みになり、特につらい感じはせず、頑張った感じは全くありませんでした。妻も「本当にやめられたの?」とびっくりしていました。禁煙してよかったことは、喫煙できる場所を探さなくてよくなったこと。子連れで出かけると、吸える所が少なく、子どもにとっても煙にさらされずに済みます。体調も良くなりました。以前はのどが痛かったり、痰が絡んだりすることがありましたが、やめてからそういうことがなくなりました。

No.	体験談タイトル	禁煙時年齢	喫煙年数	きっかけ			禁煙方法			
				健康	家族的	経済的	禁煙パイプ	禁煙薬	禁煙外来	
1	かかりつけ医に言われて禁煙	20代	10年台	○			医師	○		
2	妻の妊娠をきっかけに離煙パイプで禁煙	20代	数年台		○			○		
3	体が軽くなり、経済的にもメリット	20代	数年台			○		○		
4	「禁煙セラピー」の本を読んで禁煙	30代	10年台	○	○				○	
5	離煙パイプで苦も無くやめられた	30代	20年台	○	○			○		
6	禁煙は娘との約束	40代	20年台	○	○			○		
7	2回の禁煙外来で成功!	40代	20年台	○	○					○
8	ネットでみつけた離煙パイプが効果的	40代	20年台		○			○		
9	たばこに縛られる自分から自由に	40代	20年台	○	○					○
10	大病を機会にすっぱり禁煙	50代	30年台	○				○		
11	タバコの代わりにガムがお勧め	50代	40年台	○			友人	○		

4-1 高齢期 孫にLINEを送ろう！～スマホの使い方講座の開催

スマートフォンを所有しているが、使い方が分からない高齢者に対して、講座を開き、最終的に孫世代とより交流できることで、脳が活性化され健康増進に寄与する。またデジタル情報へのアクセスを容易に行えることにより、健康情報が入手できることを目的とした事業である。

しかしながら、スマホを持っている高齢者は少なく、平成29年度のグループリビングでの聞き取り調査ではスマホを持っている人はほとんどいなかった。また、スマホを持っている人でもほとんど使っていない状況であった。一方、町内にある携帯会社は1社のみであることから、本事業でスマホの購入を勧めることは、特定の事業者の利益に資することとなり、公共の事業としては困難であると判断された。他方、庁内の高齢者グループに対しタブレットの講習会を開催している業者がいるため、その業者へのヒアリングを行ったが、これについても特定の業者の利益にかかわるため、それ以上の進展は困難であった。

以上のことから、本事業については、これ以上の推進を行わないこととした。

3 第1期事業評価と課題

1) 事業評価指標

事業ごとに主要成果指標（Key Performance Indicators=KPI）を設定し、事業担当者が自ら評価して省みる「セルフモニタリング」を行い、評価した。事業の評価は「①ストラクチャー（組織）」、「②プロセス（実施段階）」、「③アウトプット（実施結果）」、「④アウトカム（実施成果）」の4つの軸で、評価の方法としては「4：とてもよくできた、3：だいたいできた、2：あまりできなかった、1：ほとんどできなかった」の4段階評価など定性的評価を定量化する方法で行った。

事業名・プログラム名	No.	指標	指標種類	データ源泉	評価の方法	評価頻度
1-1 子どもの健康ワンポイント講座	1	関係部署、関係機関・団体との調整	ストラクチャー	会議記録	4段階評価(4:とてもよくできた、3:だいたいできた、2:あまりできなかった、1:ほとんどできなかった)	年1回
	2	チラシの作成	プロセス	活動報告書	4段階評価(4:とてもよくできた、3:だいたいできた、2:あまりできなかった、1:ほとんどできなかった)	年1回
	3	情報提供数	アウトプット	チラシ配布数	4段階評価(4:とてもよくできた、3:だいたいできた、2:あまりできなかった、1:ほとんどできなかった)	年1回
	4	保護者満足度	アウトカム	配布施設の人に保護者の反応などを5段階で聞き取り、平均点を取る	4段階評価(4:とてもよくできた、3:だいたいできた、2:あまりできなかった、1:ほとんどできなかった)	年1回
1-2 1歳児からの食事講習会	1	関係団体との打合せ	ストラクチャー	活動報告書	4段階評価(4:とてもよくできた、3:だいたいできた、2:あまりできなかった、1:ほとんどできなかった)	年1回
	2	リーフレット・レシピの検討、作成	プロセス	活動報告書	4段階評価(4:とてもよくできた、3:だいたいできた、2:あまりできなかった、1:ほとんどできなかった)	年1回
	3	講習会の実施	プロセス	活動報告書	4段階評価(4:とてもよくできた、3:だいたいできた、2:あまりできなかった、1:ほとんどできなかった)	年1回
	4	参加者数	アウトプット	活動報告書	対象者の参加率を5段階評価(5:とても多い(90%以上)、4:多い(70%以上)、3:平均的(50%以上)、2:少ない(20%以上)、1:とても少ない(20%未満))	年1回
	5	参加者満足度	アウトカム	参加者アンケート	アンケートで「とても良かった」または「まあまあ良かった」と回答した人の割合を5段階評価(5:90%以上、4:70%以上、3:50%以上、2:20%以上、1:20%以下)	活動の都度
2-1 運動応援隊	1	プロジェクトチーム会議の開催	ストラクチャー	会議記録	4段階評価(4:とてもよくできた、3:だいたいできた、2:あまりできなかった、1:ほとんどできなかった)	年1回
	2	事業関係者との調整	プロセス	活動報告書	4段階評価(4:とてもよくできた、3:だいたいできた、2:あまりできなかった、1:ほとんどできなかった)	年1回
	3	ちらしの作成	プロセス	活動報告書	4段階評価(4:とてもよくできた、3:だいたいできた、2:あまりできなかった、1:ほとんどできなかった)	年1回
	4	教室の周知	プロセス	活動報告書	4段階評価(4:とてもよくできた、3:大体できた、2:あまりできなかった、1:殆どできなかった)	年1回
	5	開催回数	プロセス	活動報告書	4段階評価(4:とてもよくできた、3:大体できた、2:あまりできなかった、1:殆どできなかった)	年1回
	6	参加者数	アウトプット	活動報告書	参加実人数を5段階評価(5:30人以上、4:20人以上、3:15人以上、2:10人以上、1:10人未満)	活動の都度
	7	参加者満足度	アウトカム	参加者アンケート	アンケートで「とても良かった」または「まあまあ良かった」と回答した人の割合を5段階評価(5:90%以上、4:70%以上、3:50%以上、2:20%以上、1:20%以下)	活動の都度

事業名・プログラム名	No.	指標	指標種類	データ源泉	評価の方法	評価頻度
3-1 簡単レシピで満点料理	1	関係団体との打合せ	ストラクチャー	活動報告書	4段階評価(4:とてもよくできた、3:だいたいできた、2:あまりできなかった、1:ほとんどできなかった)	年1回
	2	レシピの募集	プロセス	活動報告書	4段階評価(4:とてもよくできた、3:だいたいできた、2:あまりできなかった、1:ほとんどできなかった)	年1回
	3	応募レシピの試作、選考	プロセス	活動報告書	4段階評価(4:とてもよくできた、3:だいたいできた、2:あまりできなかった、1:ほとんどできなかった)	年1回
	4	レシピの配布	プロセス	活動報告書	4段階評価(4:とてもよくできた、3:だいたいできた、2:あまりできなかった、1:ほとんどできなかった)	年1回
	5	応募者数	アウトプット	活動報告書	5段階評価(5:とても多い(20人以上)、4:多い(15人以上)、3:平均的(10人以上)、2:少ない(5人以上)、1:とても少ない(5人未満))	年1回
	6	レシピの配布枚数	アウトプット	活動報告書	4段階評価(4:とてもよくできた(80枚以上)、3:だいたいできた(60枚以上)、2:あまりできなかった(40枚以上)、1:ほとんどできなかった(40枚未満))	年1回
	7	町民健康デーでの試食人数	アウトプット	活動報告書	4段階評価(4:とてもよくできた(80人以上)、3:だいたいできた(60人以上)、2:あまりできなかった(40人以上)、1:ほとんどできなかった(20人以下))	年1回
	8	試食者満足度	アウトカム	参加者アンケート	アンケートで「とても良かった」または「まあまあ良かった」と回答した人の割合を5段階評価(5:90%以上、4:70%以上、3:50%以上、2:20%以上、1:22%以下)	年1回
3-2 健康情報メールマガジンで、健康ゲット!!	1	関係部署との打ち合わせ	ストラクチャー	会議記録	4段階評価(4:とてもよくできた、3:大体できた、2:あまりできなかった、1:ほとんどできなかった)	年1回
	2	メルマガ登録の推進	プロセス	広報・チラシ	4段階評価(4:とてもよくできた、3:大体できた、2:あまりできなかった、1:ほとんどできなかった)	年1回
	3	メルマガの作成	プロセス	広報・チラシ・健康カレンダー	4段階評価(4:とてもよくできた、3:大体できた、2:あまりできなかった、1:ほとんどできなかった)	年1回
	4	メルマガ登録者数	アウトプット	地域政策課が把握している登録者数	5段階評価(5:とても多い=2500人以上、4:多い=1500~2499人、3:平均的=1000~1499人、2:少ない=500~999人、1:とても少ない=100~499人)	年1回
	5	メルマガ送付数	アウトプット	地域政策課が把握している送付数	5段階評価(5:とても多い=2500人以上、4:多い=1500~2499人、3:平均的=1000~1499人、2:少ない=500~999人、1:とても少ない=100~499人)	年1回
	6	登録者満足度	アウトカム	登録者アンケート	アンケートで「とても満足」「だいたい満足」と回答した人の割合を5段階評価(5:90%以上、4:70%以上、3:50%以上、2:20%以上、1:20%未満)	年1回
3-3 禁煙のススメ‘やめたいアナタを応援します’	1	プロジェクトチーム会議の開催	ストラクチャー	会議記録	4段階評価(4:とてもよくできた、3:だいたいできた、2:あまりできなかった、1:ほとんどできなかった)	年1回
	2	関係機関との調整	プロセス	会議記録	4段階評価(4:とてもよくできた、3:だいたいできた、2:あまりできなかった、1:ほとんどできなかった)	年1回
	3	禁煙促進リーフレットの見直し	プロセス	活動報告	4段階評価(4:とてもよくできた、3:だいたいできた、2:あまりできなかった、1:ほとんどできなかった)	年1回
	4	禁煙促進リーフレット、医療機関リスト配布数	アウトプット	活動報告	4段階評価(4:とてもよくできた 300以上、3:大体できた 100以上、2:あまりできなかった 50以上、1:ほとんどできなかった 50未満)	年1回
	5	禁煙個別相談の実施	プロセス	活動報告	4段階評価(4:とてもよくできた、3:だいたいできた、2:あまりできなかった、1:ほとんどできなかった)	年1回
	6	禁煙出前講座の実施	プロセス	活動報告	4段階評価(4:とてもよくできた、3:だいたいできた、2:あまりできなかった、1:ほとんどできなかった)	年1回
	7	参加者満足度	アウトカム	参加者アンケート	アンケートで「とてもよかった」「よかった」と回答した人の割合を5段階評価(5:90%以上、4:70%以上、3:50%以上、2:20%以上、1:20%未満)	活動の都度
4-1 孫にLINEを送ろう!~スマホの使い方講座の開催	1	町内携帯会社の調査	ストラクチャー	調査結果報告書	4段階評価(4:とてもよくできた、3:だいたいできた、2:あまりできなかった、1:ほとんどできなかった)	年1回
	2	グループリビング参加への調査	ストラクチャー	調査結果報告書	4段階評価(4:とてもよくできた、3:だいたいできた、2:あまりできなかった、1:ほとんどできなかった)	年1回

2) 事業評価結果

設定した主要評価指標に基づき、各年度の事業の実施状況を評価した結果について、事業開始年度の平成 28 年度から令和元年度までについて次ページに示す。

なお、事業によって開始年度が異なるため、評価されていない年度もある。「1-1 子どもの健康ワンポイント講座」は平成 28 年度に検討を行い、平成 29 年度に事業を開始した。「2-1 運動応援隊」は平成 29 年度に検討を開始し、平成 30 年度に事業を開始した、などとなっている。

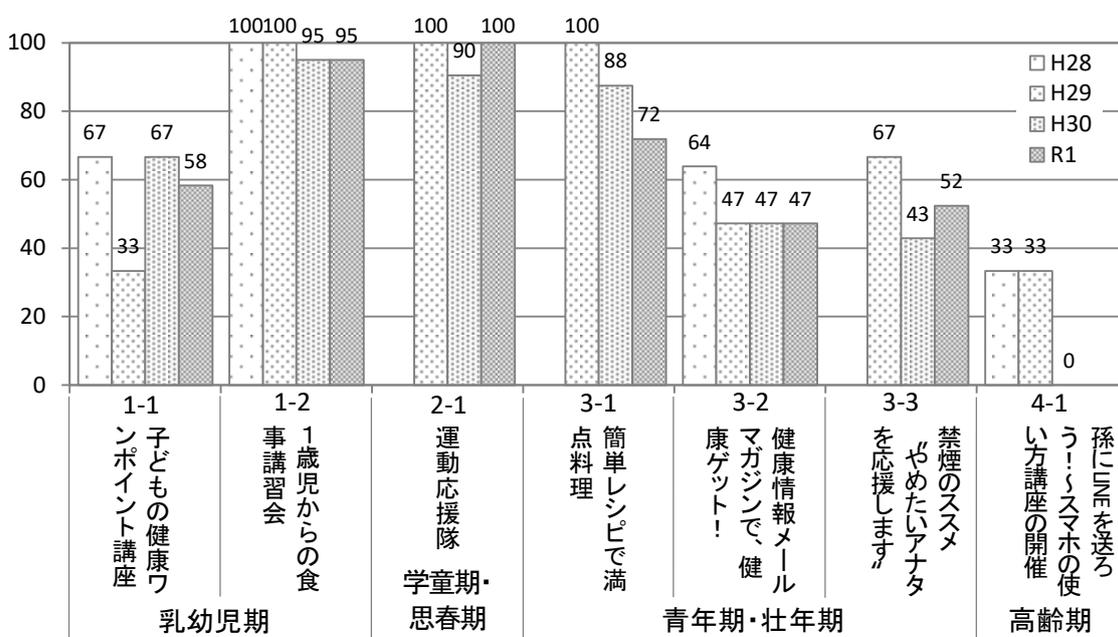
うち、事業が難航したのは「4-1 孫に LINE を送ろう！～スマホの使い方講座の開催」事業であった。スマートフォンを所有しているが、使い方が分からない高齢者に対して、講座を開き、最終的に孫世代とより交流できることで、脳が活性化され健康増進に寄与し、かつデジタル情報へのアクセスを容易に行えることにより、健康情報が入手できることを目的とした事業であった。しかしながら、スマホを持っている高齢者は少なく、平成 29 年度のグループリビングでの聞き取り調査ではスマホを持っている人はほとんどおらず、スマホを持っていてもほとんど使っていない状況であった。一方、町内にある携帯会社は 1 社のみであり（令和 2 年度時点では 1 社もない）、本事業でスマホの購入を勧めることは、特定の事業者の利益に資することとなり、公共の事業としては困難であると判断された。そのため、本事業の推進は困難と判断され、途中で検討を打ち切った。

3) 事業評価結果まとめ

評価結果は4段階評価、あるいは5段階評価などと指標によって評価段階が異なるため、100点満点の「得点」に換算し、平均得点を計算した。その結果、事業によっては高い評価結果となったもの、あまり評価結果が高くならなかったものもあった。

世代	テーマ	No.	指標	指標種類	評価段階	活動評価				得点				平均得点			
						H28	H29	H30	R1	H28	H29	H30	R1	H28	H29	H30	R1
乳幼児期	1-1 子どもの健康ワンポイント講座	1	関係部署、関係機関・団体との調整	ストラクチャー	4	3	3	3	3	67	67	67	67	67	33	67	58
		2	チラシの作成	プロセス	4		3	3	3		67	67	67				
		3	情報提供数	アウトプット	4		1	4	4		0	100	100				
		4	保護者満足度	アウトカム	4		1	2	1		0	33	0				
	1-2 1歳児からの食事講習会	1	関係団体との打合せ	ストラクチャー	4	4	4	4	4	100	100	100	100	100	100	95	95
2	リーフレット・レシピの検討、作成	プロセス	4	4	4	4	4	100	100	100	100						
3	講習会の実施	プロセス	4		4	4	4		100	100	100						
4	参加者数	アウトプット	5		5	4	4		100	75	75						
5	参加者満足度	アウトカム	5		5	5	5		100	100	100						
学童期・思春期	2-1 運動応援隊	1	プロジェクトチーム会議の開催	ストラクチャー	4		4	4	4	100	100	100	100	90	100	100	
		2	事業関係者との調整	プロセス	4		4	4	4	100	100	100					
		3	ちらしの作成	プロセス	4			4	4		100	100					
		4	教室の周知	プロセス	4			3	4		67	100					
		5	開催回数	プロセス	4			3	4		67	100					
		6	参加者数	アウトプット	5			5	5		100	100					
		7	参加者満足度	アウトカム	5			5	5		100	100					
青年期・壮年期	3-1 簡単レシピで満点料理	1	関係団体との打合せ	ストラクチャー	4		4	4	4	100	100	100	100	88	72	72	
		2	レシピの募集	プロセス	4		4	4	4	100	100	100					
		3	応募レシピの試作、選考	プロセス	4			4	4		100	100					
		4	レシピの配布	プロセス	4				4			100					
		5	応募者数	アウトプット	5		5	2	4	100	25	75					
		6	レシピの配布枚数	アウトプット	4			4	4		100	100					
		7	町民健康デーでの試食人数	アウトプット	4			4	1		100	0					
		8	試食者満足度	アウトカム	5				1			0					
	3-2 健康情報メールマガジンで、健康ゲット！！	1	関係部署との打ち合わせ	ストラクチャー	4	4	1	1	1	100	0	0	0	64	47	47	47
		2	メルマガ登録の推進	プロセス	4	3	3	3	3	67	67	67	67				
		3	メルマガの作成	プロセス	4	3	3	3	3	67	67	67	67				
		4	メルマガ登録者数	アウトプット	5	4	4	4	4	75	75	75	75				
		5	メルマガ送付数	アウトプット	5	4	4	4	4	75	75	75	75				
		6	登録者満足度	アウトカム	5	1	1	1	1	0	0	0	0				
		7	参加者満足度	アウトカム	5												
3-3 禁煙のススメ'やめたいアナタを応援します'	1	プロジェクトチーム会議の開催	ストラクチャー	4			4	4		100	100	67	43	52	52		
	2	関係機関との調整	プロセス	4			4	4		100	100						
	3	禁煙促進リーフレットの見直し	プロセス	4			2	4		33	100						
	4	禁煙促進リーフレット、医療機関リスト配布数	アウトプット	4		3	3	3	67	67	67						
	5	禁煙個別相談の実施	プロセス	4			1	1		0	0						
	6	禁煙出前講座の実施	プロセス	4			1	1		0	0						
	7	参加者満足度	アウトカム	5			1	1		0	0						
高齢期	4-1 孫にLINEを送ろう！～スマホの使い方講座の開催	1	町内携帯会社の調査	ストラクチャー	4	3	1	1		67	0	0	33	33	0	0	
		2	グループリビング参加への調査	ストラクチャー	4	1	3			0	67						
										67	62	67	78	49	69	54	68
										78	86	71	81				
										75	69	80	74				
										0	33	47	33				

事業評価結果を事業別にグラフ化すると、「1-2 1歳児からの食事講習会」、「2-1 運動応援隊」は得点が高いが、得点が低いものもある。得点が低いものは、対象者の満足度がきちんと把握できておらず、アウトカムが低いことによる。事業は、単に実施するだけでなく、参加者の満足度を測り、改善することが必要である。



また、評価軸別にみると、ストラクチャー（組織）は増加傾向にあり、プロセス（実施）およびアウトプット（結果）は高いが、アウトカム（成果）は高くない。第2期計画においては、アウトカムを高める事業の推進が望まれる。

